

2022年度 第6回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2022年9月26日（月）

場 所 豊岡市役所竹野庁舎1階 大会議室

所 在 地 豊岡市竹野町竹野1585-1

開会時間 午後2時30分

閉会時間 午後3時45分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	こども教育課長	和田 晃典
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	惠後原 博美
	こども育成課長	吉本 努
	教育総務課長	永井 義久
	教育総務課課長補佐	植田 真美
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

佐伯 和亜 委員

第2 前回の会議録の承認

2022年8月22日（月）開催 第5回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化・スポーツ振興課

(1) 第73回豊岡市美術展について

## 第5 議事

- 報告第25号 寄附物件の受納について
- 報告第26号 令和4年9月市議会答弁概要について

## 第6 教育委員会事務局の報告

### 1 教育総務課

- (1) 「合橋・高橋」及び「日高・静修」における統合の進捗状況報告について

### 2 こども教育課

- (1) 生徒指導について
- (2) 豊岡市非認知能力向上対策事業「第2回演劇ワークショップ（10月）」の実施について
- (3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

### 3 こども育成課

- (1) 第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

## 第7 委員活動報告

## 第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

---

開会 午後2時30分

---

(教育長)

ただ今から、2022年度第6回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

### 【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、佐伯委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

### 【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。8月22日に開催しました第5回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございましたらご指摘をお願いします。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

### 【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回8月22日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について、報告をいたします。本日配付した資料をご覧ください。

#### 《教育長の報告概要》

1つ目は豊岡演劇祭についてです。昨日、11日間の豊岡演劇祭が閉幕しましたが、延べ10,000人を超えるお客さんが来られました。劇団は80団体が参加し、私もその中の公式プログラムを3本観てきました。これこそ演劇と思えるようなものや理解することが難しい演劇もあった中、最も心に残ったのは、唯一、公式プログラムで子どもたちが出演している「但東さいさい」です。2年前から烏丸ストロークロックという劇団が但東地域に入り込んでいますが、但東地域には他の地域にはない特異なことがあり、それは20の歌舞伎等のための農村舞台が現存しているということです。かつては、その歌舞伎の舞台に地域の人たちが毎年1回もしくは2回、旅芸人の一座を呼んできて、観劇していたのですけれども、途中で自分たちも演じてみようじゃないかということになり、民話をつくり、歌舞伎を舞台上で演じて、みんなで楽しんだそうです。劇団は、その舞台を利用することにしました。子どもたちと一緒に歌舞伎を演じたいというところから始まり、共演が実現しました。そして、去年1本の演劇ができたので、演じようと思ったけれども、コロナにより豊岡演劇祭が中止になりました。今回、合橋地区で1本、高橋地区で1本、資母地区で1本をつくり、歌舞伎の舞台上に上がって、子どもたちが大人の劇団員と一緒に演じていました。主役は子どもたちです。私が観に行ったものは合橋地区での舞台でしたが、たくさんのお客さんが来られていました。おじいちゃんやおばあちゃん、友達等が観に来ていましたが、その中で、子どもたちは堂々と演じていました。演劇が上手か下手ということではなくて、地域の人たちと一緒に何か一つのことを作り上げるという経験は滅多にないことですので、本当に意義深いことだと思いました。去年と今年とを比べても、朗読、舞、お囃子、いずれもブラッシュアップされていました。地域の人たちも、舞台の背景に着物を持ってきて飾ったり、盛り上げるためのくじ引きにスポンサーとして参加したりして、とても協力的であり、本当に地域全体で盛り上がっていました。今回はたまたま目をつけてくれた劇団があったので、但東地域でそうした経験ができたのですけれども、そのことも大きな意味でのふるさと教育であり、豊岡ならではのことで、今後、他の地域でも演劇祭に小学生や中学生がどのような形で関与していくのかを学校と一緒に協議していきたいと思いました。

2つ目は部活動の地域移行についてです。議会の一般質問でも、地域の部活動はどうなっていくのだろうと心配の声をいただいたのですが、過日の担当者会では、県教育委員会としても、国からの情報提供がほとんどなく、文化庁とスポーツ庁が提言した内容しか情報を持っていないということでした。大きな問題は、受け皿がないことと指導者がいないことです。この2つのことができる都市部はよいのですが、但馬地域ではなかなかできないため、どのようなことができる

のかをこれから模索していくこととなります。スポーツクラブ 21 にどれくらいのクラブが受け皿になれるかを照会すると、今のところ5つのクラブしかないという状況でした。それから、豊岡市スポーツ協会は 72 の団体がありますので、文化・スポーツ振興課とも連携を取りながら、調整していきたいと思います。民間のスポーツクラブもありますので、どれくらい受け皿になれるのか、そのことも含めて検討委員会を立ち上げ、問題提起し進めていきたいと思っています。中学校にも委員会に入ってもらおうようお願いしました。

また、次のようなことも可能とのこと。2025 年から土日だけ部活動を地域移行するのですが、県に絶対に移行しなければならないのかを聞くと、できない状況も想定されるため、必ずということではないようです。それから、例えば、平日は学校の野球部に入り、土日だけ民間の陸上部に入ることも可能だということです。また、現在、部活動指導員がいますので、平日は部活動指導員が部活を指導し、土日はその部活指導員が民間の指導者という立場になり、指導することも可能だということです。

このように様々なパターンがあります。すべての学校で移行することは難しいため、いずれか一部の学校で移行したり、すべての学校のいずれかの部活動だけを移行したりする選択肢もあると思いますので、どのようなことができるのかを今後協議していきます。国から予算を含めて何らかの提案があると思いますので、国の動向を注視しながらこれから進めていきたいと考えます。子どもの数が減り、部活動の数も減ってきたため、部活動の選択肢がないという現実を打破できることと、先生たちの働き方改革が進むこと、それらの目的はとても素晴らしいので、できることをこれから考えていきたいと思っています。

#### 【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 第73回豊岡市美術展について、事務局から説明をお願いします。

### 1 文化・スポーツ振興課

#### (1) 第73回豊岡市美術展について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今年度の展覧会期は 11 月 2 日 (水) から 6 日 (日) まで 5 日間である。会場は、昨年度はWEB展示と実展示があり、実展示は但馬文教府で開催していたが、今年度は従来どおり総合体育館で開催する。表彰式について、11 月 3 日 (木・祝) に開催し、午前 10 時 30 分から児童・生徒の部、午後 2 時から招待・一般・高校の部を予定している。会場は、じばさんT A J I M A 2 階の多目的ホールになる。

表彰式での役割について、教育委員の皆さんには、それぞれ授与や閉式のことばをお願いさせていただいている。第 71 回と第 72 回については、コロナの関係により、表彰式を簡略化し、教育委員の皆さんにも表彰式への出席は取りやめていた。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。役割についてもよろしく申し上げます。

(委員)

なし

## 【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。報告第25号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

### ○ 報告第25号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体2件、個人3件の合計5件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第26号 令和4年9月市議会答弁概要について、教育次長の説明を求めます。

### ○ 報告第26号 令和4年9月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和4年9月市議会の答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和4年9月議会の答弁概要について、ご承知おきください。

## 【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 「合橋・高

橋」及び「日高・静修」における統合の進捗状況報告について、教育総務課長の説明をお願いします。

## 1 教育総務課

### (1) 「合橋・高橋」及び「日高・静修」における統合の進捗状況報告について

《教育総務課長の説明概要》

「合橋・高橋」及び「日高・静修」における統合の進捗状況報告について、資料に基づき説明する。

現在、2カ所で統合準備委員会を設置し、2023年4月の統合に向けて準備をすすめているところである。

まず、合橋・高橋地区小学校園統合準備委員会については、3回実施し、通学通園方法、制服等について方向性が示された。閉校式を2023年3月25日に予定している。9月には、小学校と地区との高橋校区民大運動会等が閉校記念行事と位置づけ開催される予定である。

今後の予定として、10月17日に最終の第4回統合準備委員会を実施する。

次に、日高小学校・静修小学校統合準備委員会については、2回実施し、通学方法、制服等について方向性が示された。2023年3月25日に閉校式を予定している。

今後の予定として、9月25日に第3回統合準備委員会、11月に最終の統合準備委員会を予定している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 生徒指導について、こども教育課長の説明をお願いします。

## 2 こども教育課

### (1) 生徒指導について

《こども教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

学校ごとに毎月指導方針などを決めておられると思いますが、例えば、9月の指導内容で具体的な事例を教えていただければありがたいです。

(こども教育課長)

9月22日に不登校対策専門委員会を開催し、委員からいろいろな意見をいただいています。委員会で出てきた各校の取組や委員の意見を取りまとめます。まだ取りまとめができておりませんので具体的事例についてお伝えできませんが、まとめ次第、学校へ情報提供していきたいと思っています。

(教育長)

その他質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 豊岡市非認知能力向上対策事業「第2回演劇ワークショップ(10月)」の実施について、こども教育課長の説明をお願いします。

### **(2) 豊岡市非認知能力向上対策事業「第2回演劇ワークショップ(10月)」の実施について**

《こども教育課長の説明概要》

豊岡市非認知能力向上対策事業「第2回演劇ワークショップ(10月)」の実施について、資料に基づき説明する。

10月の第2回演劇ワークショップの日程が決まった。教育委員の皆さんもぜひ参加いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

### **(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について**

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、夏休み期間中であるが、通級児童生徒数が実数3人である。中学2年生の生徒が8月下旬からふれあいルームに通級している。精神的に不調があり、学校に行きにくくなっていた。本児がふれあいルームを希望し、現在通院しながら、学習活動等に取り組んでいる。

ふれあいルームでは、11月の移転に向けて、事前見学会を予定し、通所しやすいように準備している。教育相談では、不登校相談など4人が利用した。

特別支援の取組状況は、例年並みで、電話相談は36件、来所や学校園を訪問しての相談は54件、検査は17件実施した。

家庭児童相談の取組状況は、8月の虐待通告は市外から転入したケースで、1世帯2人の身体的・心理的虐待があった。育児ストレスが高くなった母親が、知的障害がある児の頭に大けがを負わせ、市外で一時保護されたものである。同居している妹も心理的虐待として対応している。現在、父母は反省しており、市内に住んでいる祖母から申し出があり、2人の養育を数年単位で祖母に託せることになった。現在は、児らは祖父母宅から学校園に通い、新しい生活環境に慣れつつある。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

不登校相談の来所2件、電話1件となっていますが、どのような内容でしょうか。また、各学校と連携はどのようになっているか教えていただければと思います。

それから、家庭児童相談の取組について、育成相談で不登校3件とあるが、内容を教えていただければと思います。

(こども支援センター所長)

不登校相談では、基本的にはお母さんから電話がかかってくるのですが、直接本人から相談が入ることもあります。詳細を説明することはできませんが「学校に行きたくない」という相談が多いです。

家庭児童相談について、育成相談の不登校3件は、以前からずっと不登校で引きこもり状態の子どもについての相談になります。

(飯田委員)

「行きたくない」という相談について、もう少し突っ込んで理由を聞いたり、本人に何か希望があることを聞いたりするなどどうでしょうか。

(こども支援センター所長)

個人ごとで課題がいろいろあります。なぜ来られないのか、どうすればいいのか、次どこにつなげるかについては、ケースに合わせて連携しています。「学校にもう一度相談されてはどうですか」「スクールカウンセラーに相談されてはどうですか」「こども支援センターの夜間の心理士相談はいかがですか」など、おつなぎする方法を示したりすることもしています。

また、本人の了解を得て、学校と連携を取ることをお伝えします。了解が得られない場合には、名前を伏せた状態で学校へ情報提供させていただいています。

(教育長)

その他質問等はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

アイティ7階に移転されるのはいつですか。

(こども支援センター所長)

開所予定は11月1日で、10月最終週に引越しをする予定です。子どもたちは場所が変わることによって、不安を感じたり、駐車場から上がってくるときにどのように行けばよいのかを心配したりすると思いますので、ウォーキングを兼ねて、事前の10月17日午前と10月20日午後にアイティに見学に行く予定にしています。

(佐伯委員)

その辺りが本当に心配ですので、現在通所されている方々が、場所が変わることによって抵抗を感じたりしないよう対応をお願いします。

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1)第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて、こども育成課長の説明をお願いします。

### 3 こども育成課

#### (1) 第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

《こども育成課長の説明概要》

第2期豊岡市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて、資料に基づき説明がする。

子ども・子育て支援事業計画は2020年度から2024年度の5カ年計画であり、2022年度が中間年に当たる。子ども・子育て支援事業計画策定に係る国の基本指針において「市町村は、教育・保育給付認定の状況を踏まえ、計画期間の中間年を目安として、必要な場合には、市町村子ども・子育て支援事業計画の見直しを行うこと」とされていること、本市において、R2(2020)、R3(2021)年度において計画と実績に乖離が見られること、により見直しを行うこととする。

見直し内容として、児童数については、当初の計画値と比べて人口が減少の傾向が大きいため、令和5(2023)年度の当初計画を6,887人としているが、6,626人に変更したい。同じように、令和6(2024)年度の当初計画を6,630人としているが、6,277人に変更したい。

教育・保育の量の見込みについて、令和5(2023)年度の1号認定児の計画値を307人としているが、201人に変更し、差引き106人減にしたい。2号認定児の計画値を1,264人としているが、1,320人に変更し、差引き56人増にしたい。また、3号認定児の計画値を953人としているが、863人に変更し、差引き90人減にしたい。

確保方策としては、令和5(2023)年度からアートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園の認定こども園化をする。1号認定児・2号認定児の数値を増やしている。その他は、豊岡めぐみ・豊岡ひかり幼稚園の統合、新田・中筋・神美・田鶴野幼稚園の閉園、高橋認定こども園の閉園があるため、それぞれ各号認定児を減らすよう計算している。令和6(2024)年度は、蓼川保育園

の認定こども園化をする。1号認定児・2号認定児・3号認定児をそれぞれ増やし、日高幼稚園の閉園により1号認定児を減らすよう計算し、全体的な数値を見直している。

また、地域子ども・子育て支援事業の放課後児童クラブの量の見込みについて、令和5（2023）年度の利用者数を1,437人としているが1,287人に、令和6（2024）年度の利用者数を1,420人としているが1,275人に変更したい。

確保方策については、あり方計画に基づき施設整備を実施する。令和5（2023）年度からは新田、田鶴野、神美の各幼稚園舎をクラブの専用施設化にし、豊岡第2放課後児童クラブを豊岡小学校へ移転開所する。令和6（2024）年度からは日高幼稚園舎をクラブの専用施設化にする。

スケジュールについて、8月29日に豊岡市子ども・子育て会議を開催し、計画の見直しについて会議で諮った。9月以降に兵庫県による内容確認があり、必要に応じて市で見直し計画を修正する。最終3月に、豊岡市子ども・子育て会議で見直し内容を決定する。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

これで各課からの報告を終了します。

## 【日程 第7 委員活動報告】

（教育長）

続きまして、日程第7 委員活動報告に移ります。

（飯田委員）

8月31日の八代小学校区の住民説明会について、個別に話を聞いていると、反対意見を持った方が何人かおられ、その方々も参加されていましたが説明会では黙っておられました。スケールの大きな構想の話をされた方もおられましたが、アンケート結果を見せていただくと厳しい意見も出されていきましたので、教育委員会としてはその辺をしっかりと抑えながら、指針を示さなければならないと改めて感じました。大きな構想を持たれるのはよいのですが、地域の日常生活の中で、現実に行っていることをしっかりと認識したうえで、「小規模校なら小規模校として取り組む」というような方向性を示さないと長続きしないと感じました。

9月13日の市議会について、主に部活動や「日高・静修」における統合に関係する一般質問を傍聴しました。子どもたちのことについて、非常に興味を持っていただいていることを嬉しく思いました。一般質問にあった奨学金については、私は基本的には大いに市民に利用していただいて、大いに勉強していただきたいというスタンスで奨学生選考委員会委員として携わらせていただいておりますが、人が人を評価することについては、慎重に適性を見極めることが求められ、いつも苦渋の決断をしていることもご理解いただきたいと思います。変化する社会情勢や経済状況の中で、お金があれば、より余裕ができて、勉学に励めるものと思っておりますが、一方で、厳し

さも必要ですので、両方の思いを持って、奨学生の選考に当たっています。そのことを思いながら議会を傍聴していました。

通学バスについて、静修小学校が日高小学校と統合し、距離が約3kmになるという話が出ていましたが、あまりにも杓子定規で、厳しい問題だと思いました。また、少ししんどくても、結果的に子どもの健全な育成のためになるのであれば、徒歩でもよいのかなという思いもあります。ある程度、常識的で、誰からも納得が得られるような判断をしなければならないと思います。また、公共交通機関を利用する人もいると思いますので、子どもの育ちを見据えた計画になればよいと思いながら聞いていました。

9月18日、小規模の八代小学校、静修小学校、そして、府中小学校、日高小学校の運動会をそれぞれ見させていただきました。小規模校は小規模校なりに、非常に工夫しておられることがよくわかりました。子どもの将来のために身につく運動会かどうかという観点で見えていました。府中小学校や日高小学校でできるグループの騎馬戦などは、小規模校ではできません。子ども同士がどう行動するのか意見を出し合ったり、互いに応援して歓声を上げるような場面が作れなかったりする小規模校は残念だと思いながら見ていました。結論としては、ある程度的人数がいて、先生の役割があり、子どもたちも互いにコミュニケーションを図りながら、思い出に残る運動会を作れるような環境であってほしいと思いました。そうしたことができるためにもやはりある程度的人数は必要であると思いました。

(向井委員)

竹野小学校の運動会に行ってきました。統合した3校が一緒になって初めての運動会でしたが、この春に統合したばかりとは思えないほど、子どもたちは皆とてもよく溶け込んでいました。閉会式では、生徒代表が「人数が多くなって、少し不安なこともあったけれども、みんなの楽しい顔を見て、とても安心したし、とても嬉しかったです」とあいさつしていたので、よかったと思いました。ただ、中竹野小学校と竹野南小学校の子どもたちは、それぞれ20人ぐらいの規模の学校だったところが、100人規模の学校になり、リレーは何組もの組数があったり、演技や隊形も20人ほどで行っていたりしていたときは全然規模が違うため、子どもたちはどんなふうに感じているのか、また聞いてみたいと思いました。

また、竹野小学校には肢体不自由の障害の重い児童がおり、心配していたのですが、運動会では一人で走ったりしていたので、その成長ぶりに感激しました。

(佐伯委員)

今年の運動会について、コロナ感染者が出ている学校は延期したり、台風が近づいていたけれども、中止にするのではなく、1日早く開催したりするなど臨機応変に対応していただいたことがとてもよかったと思います。

(成田委員)

9月の連休が明け、今朝、小学生の登校の見守りに行くと、もう1人の見守りの方が「子どもたちが大きくなりましたね」としみじみ言われていました。ついこの間まで、よちよち歩いていた1年生がしっかりした足取りで登校しています。本当に子どもの成長に驚かされる思いがしました。子どもはいろいろなことを経験して成長していきます。コロナ禍でもありますし、学校に

行けば、またいろいろな問題があるのかもしれませんが、どんなことがあっても、朝になると肅々と等間隔に並んで登校しています。今朝は、このことの素晴らしさに「大きくなりましたね」という言葉が重なり大変感動しました。

プロのスポーツ選手等は、日々の単調なルーティーン、繰り返しの練習を大切にされると聞きます。その単調なルーティーンが大きな力を生み出します。子どもたちは毎日肅々と登校していく、その姿がとても大切なことだという思いを新たに、今後もできる限り子どもたちの登校を見守っていきたいと思いました。

それから、私は文化活動において、リーダーシップを取らなければならない立場にあります。先日、豊岡の音楽団体の発表会が久しぶりに行われ、五荘小学校の金管バンドがゲスト出演しました。五荘小学校の子どもたちが出演したときには、会場がすごく盛り上がりました。子どもたちも大きな拍手を受けて、生き生きと演奏していました。聞くところによると、金管バンドの近畿の大会で優秀な成績を収めているということで、指導は地域の方がしておられます。演奏する子どもたちの生き生きとした姿が素晴らしいと感じた次第です。

文化団体は、文化活動の中で子どもたちとの関わりを非常に大事にしています。「創造と交流」を活動のテーマに掲げ、活性化を図っていますので、できれば糸口を探して、子どもたちとも交流したいと思います。団体には、生け花を子どもたちに教えている方がおられますし、茶道、日本舞踊などを学校や地域コミュニティで子どもたちに指導されている方もおられます。子どもたちも生き生きと交流活動に参加していますし、指導する方も子どもたちとの関わりを大事にしながら指導されています。このような活動に取り組みながら、文化団体と子どもたちとの接点を探っていければよいかなと考えています。

先日も、私が所属している美術協会の展覧会を開催しました。自分たちの作品を展示するだけでなく、中学生や高校生の作品も協力を得て、展示しました。家族や友達等が会場に見に来ていました。そのような活動も、市のとよおか教育プランの家庭と地域による学校と連携した教育の推進に位置づけられていることではないかなと考えますので推進していきたいと思っています。

## 【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

### 1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第7回定例教育委員会会議は、10月24日（月）午後1時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催する。

### 2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、10月24日（月）午後1時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催します。

これをもちまして、第6回定例教育委員会会議を閉会いたします。

---

閉会 午後3時45分

---

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2022年9月26日

教育長

委員